

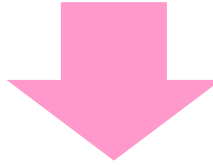


思い出を形にするミニチュア服の制作と提案





ファストファッションの台頭などによる服の大量生産・大量消費



服の大量廃棄問題の軽減

家族や友人への譲渡

リメイクサービス

廃棄衣料の回収サービス

リサイクルショップや
フリマアプリの活用



1着1着の服を大切にするという気持ちを喚起させることが必要ではないか？

廃棄衣料を用いた「思い出を形にする」
ミニチュア服の制作とサービスを提案する

調査方法



1. 服の大量廃棄問題、環境へ与える負荷についてWebの記事や論文等から調査する。
2. 廃棄衣料や古着を用いたリメイクサービスの実例について、代表的な4件を調査し、サービス概要、特徴をまとめ比較した。
3. ミニチュア服の制作方法についてWebやInstagram、書籍から検討した。
4. 廃棄衣料から「思い出のミニチュア服」を15着制作し、10着をBOX型の箱に収納し完成させた。
材料には、知人や「ブランディア」を運営するデファクトファクトリーの協力を得て、廃棄衣料を約40着を集め制作に使用した。
5. 「思い出を形にするミニチュア服」のサービスの提案をした。

手放される服の活用法



1. 家族や友人への譲渡や寄付

ただ廃棄するのではなく、必要としている人へ受け継ぐ

2. リサイクルショップやフリマアプリを活用する

趣味や嗜好、サイズがあった人に届ける

3. 衣類の回収をしているファッションブランドへの提供

自社で販売していた商品の回収を行い、その衣類を用いて新たな商品として提供する

4. 廃棄衣料を用いたリメイク

個人や企業で廃棄される衣料を用いて、リメイクするサービスがある



廃棄衣料を用いたリメイク服に着目し、詳しく調査した

廃棄衣料を用いた思い出リメイクの実例



1. 「思い出アフレーム」 (ミニチュアメモリアル)

幼稚園・園服・保育園の服をミニチュアサイズにリメイクし、額に入れてインテリアにするという思い出を形に残すサービス。

料金：39,800円～

特徴：額に飾ることができ、オーダーメイドも可能。



「思い出アフレーム」

2. 「ミニチュアリメイク専門店のおもいでや」 (株式会社皐月屋)

制服だけではなくさまざまな思い出をミニチュア服として提供するサービス。

料金：29,500円～50,000円 (オプションによって50,000円以上となる)

特徴：制服のみならず、さまざまな思い出服を制作することができる。
ミニハンガー、ミニトルソー、ミニドールに着せることも可能。



「おもいでや」

3. 「ミニチュアランドセル」 （ナゴヤ学生服販売株式会社）

思い出が詰まっていた捨てがたいランドセルをミニチュア化するサービス。

料金：10,000円（税別）

特徴：制作に時間はかかるがランドセルを忠実に再現することが可能。



「ミニチュアランドセル」

4. ハンドメイドサイトにおけるミニチュア服販売

個人で制作し販売するサービス。
例として「minne」というハンドメイドサイトにおけるミニチュア服を調査した。

料金：販売商品によって価格は様々

特徴：さまざまなミニチュアの制作物が販売されている。



「minne」

既存サービスの比較から

- 制服やウェディングドレスなど、決まった衣服をミニチュア化するサービスが多い
- 制作物やデザインが固定されている場合が多い
- 精巧に作られており、価格が3万円～4万円前後と高い



制作物・新サービスのアイデア

- 制服やドレスだけではなく、普段着や舞台衣装など、個人がそれぞれが「大事な思い出」だと感じる服をミニチュア化する
- ミニチュア服を収納できる外箱をデザインする。箱の内装もお客様の要望に沿え、思い出をコンパクトに収納できるようにする
- ミニチュア服のパターンを簡略化するなど工程を工夫し、料金を抑える

BOX型の箱を用いたミニチュア服の制作・サービス

コンセプト 服を大切にする心を蘇らせる思い出のミニチュア服の制作

特徴 ファッションジャンルに捉われず、普段着など日常的に着用している服も制作することが可能である。また、デザインしたBOX型の箱に収納することで外装、内装から思い出を感じることができる。背表紙を並べると本棚に並べたアルバムのような雰囲気になり可愛らしく収納することができる。

想定するサービス内容 主にインターネットで注文を受ける。お客様から思い出の写真とエピソード、あれば使用する廃棄衣料や残布を提供してもらう。メール等で打ち合わせをし、デザインを確認後、制作、納品。想定料金：1万円～2万円前後

制作の参考文献 荒木 さわ子著『オビツ11型紙の教科書』（株式会社ホビージャパン、2018年）

思い出のミニチュア服制作

学生時代に関する思い出服

1. お遊戯会の衣装 (幼稚園時代)
2. 中学校の制服 (中学時代)
3. 体育祭の衣服 (高校時代)
4. 文化祭の衣装 (大学時代)

舞台衣装の例：FANTASTICSに関する思い出服

5. デビュー衣装 (OVER DRIVE、2018年)
6. MV衣装 (STOP FOR NOTHING、2021年)
7. キャラクターコラボ服 (Betty Boop×24karats、2021年)
8. MV衣装 (サンタモニカ・ロリポップ、2022年)
9. 舞台衣装 (BACK TO THE MEMORIES、2022年)
10. ライブ衣装 (FAN FAN STEP、2022年)

制作例



参考画像

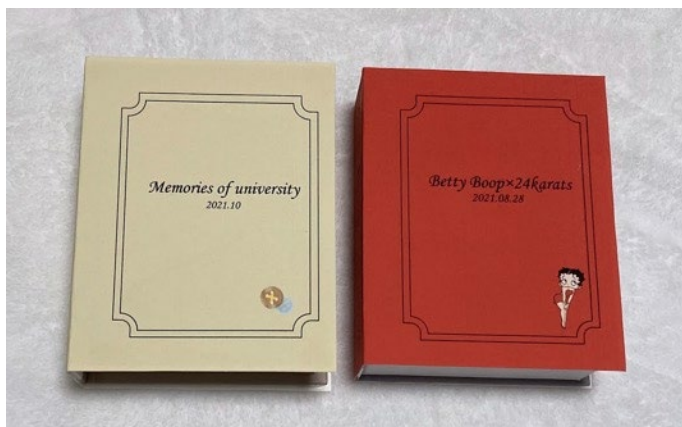


参考画像



画像をもとに制作したミニチュア服

制作物



外箱のデザイン

全体的に本のような雰囲気となるようなデザインとし、思い出からイメージされるカラーや画像を用いた。



イラストレーターでデザイン、インクジェットプリンターで印刷した紙を箱に貼り付けた。

全て並べると統一されていてアルバムのような雰囲気となり本のように背表紙が見えるように並べても可愛くなる。

内装デザイン



思い出に合わせて箱の内装を
デザイン・装飾した。



まとめ・考察



- 既存の廃棄衣料を用いたミニチュア服サービスを調査し、新たなコンセプトのミニチュア服制作とサービス提案を行った。
- 個人の思い出に合わせた廃棄衣料を用いたミニチュア服を制作し、思い出に関連するデザインの箱に収納することで、思い出を印象的に、かつコンパクトに手元に置いておける作品を制作できた。
- ミニチュア服は制作が難しく手間がかかるため、制作料金が高くなる。このため、作り方を見直し、型紙を省略するなど工程を工夫することで、コストを抑えることができると考えられる。
- 廃棄衣料を用いたミニチュア服制作は、服の大量廃棄問題を軽減することはできるが、端切れや使用しない服も出た。残った生地で再活用するのが課題である。

廃棄衣料を用いたミニチュア服制作は、課題が多くあるが服1着1着を大切に作る心を蘇らせることができるサービスであると考え

ご清聴ありがとうございました

